

ゆうあい

特別養護老人ホーム ゆうあいホーム／大竹市養護老人ホーム ゆうあいの里／ゆうあいホーム短期入所生活介護事業所／デイサービスセンターゆうあいホーム／訪問介護事業所ゆうあい／居宅介護支援事業所ゆうあい／訪問入浴介護事業所ゆうあい／訪問看護事業所ゆうあい／介護タクシーゆうあい／小島新開の家デイサービスセンター／小島新開の家デイサービス事業所／認知症対応型共同生活介護グループホームふきのとう／小規模多機能型居宅介護ふきのとう

発行 社会福祉法人 広島友愛福祉会 大竹市玖波4-8-8 TEL 0827-57-7500 発行責任者 立山 道男



春に思うこと・・・

春と言えば『受験』シーズン。約20年間、小中高生の受験指導をしてきたため、この時期は特に思い出の多い時期です。希望通りの学校に進学する子、そうでない子・・・、それぞれの人間ドラマがそこにはあります。生徒は一人一人得意な科目も違えば関心のある職業も異なります。もちろん、すべての児童・生徒に無限の可能性はあるわけですが、限られた時間ではどうしても乗り越えられない壁があることも事実です。

指導においてはその児童・生徒の学力や適正・興味などを面談や日常の学習や会話で把握し、本人や家族の希望を取り入れながら目標を設定して常に意欲をもって学習できるサポート体制を敷くことができるようスタッフが丸一となって働きかけることが重要であることは言うまでもありません。

つまり、どれだけ一人一人の『人』と『状況』を理解しながら生き生きと受験勉強に取り組めるよう努めることができるかがポイントなのです。この点で、高校が『国公立大学〇〇名合格』などという目標を掲げて、本人の志望や適正を無視しても目標数字達成のための進学指導を行ったり、就職の選択をした途端に担任から見放される等という実態を見るにつけ心が痛みます。

実は高齢者福祉の仕事に携わるようになってはじめて介護においても同じことが言えると知りました。日々進歩する医学により認知症の解明や薬の開発も進み、認知症のケアもどんどん変わっていますが、『人』と『病気』を理解し、持っている力を発揮してもらうことを心がけた個別のケアを行うことで認知症の高齢者が生き生きとした生活が送れるということです。まずは一人一人を理解し、希望や状態を把握し、ケアをするすべての部門のスタッフが知恵を出し合う、そんな介護の基本を大切にケアにあたるスタッフを見るにつけ、スタッフの努力が報われ、高齢者の皆様が心豊かな老後を過ごされるよう祈る毎日です。(瀧口 年彦)



さて、今回は福島県にある算額からの問題です。ちょっと難しいですよ。数学の知識を活用して取り組んでみてください。(※算額とは江戸時代に和算家を作ったり、解いたりした問題を絵馬の形で神社に奉納し研究の祈願や世に知らしめるようにしたものと言います)

【問】長方形ABCDの面積が16です。頂点Bから三角形ABEと三角形BCFの面積がそれぞれ2, 4となるようにBEとBFの線を引きます。このとき、三角形EFDの面積はいくらになりますか？
(答えは6ページ)

